

# 【災害レジリエンス No.1 の実現】



## 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築(レジリエンスネットワーク)

### ① 防災・物流拠点集積エリア間を結ぶ強靱な道路ネットワークの構築

広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送、経済活動の継続性を確保するため、防災拠点や物流拠点が集積する防災・物流拠点集積エリア間を連携する強靱な道路ネットワークを構築します。

### ② 防災・物流拠点集積エリア内の主要拠点を結ぶ強靱な道路ネットワークの構築

防災・物流拠点集積エリア内における早期の救命救助や被災地への支援物資輸送を可能にするとともに、企業の経済活動の継続性を確保するため、主要拠点（役所・病院・消防・自衛隊、大型倉庫等）間を結ぶ強靱な道路ネットワークを構築します。

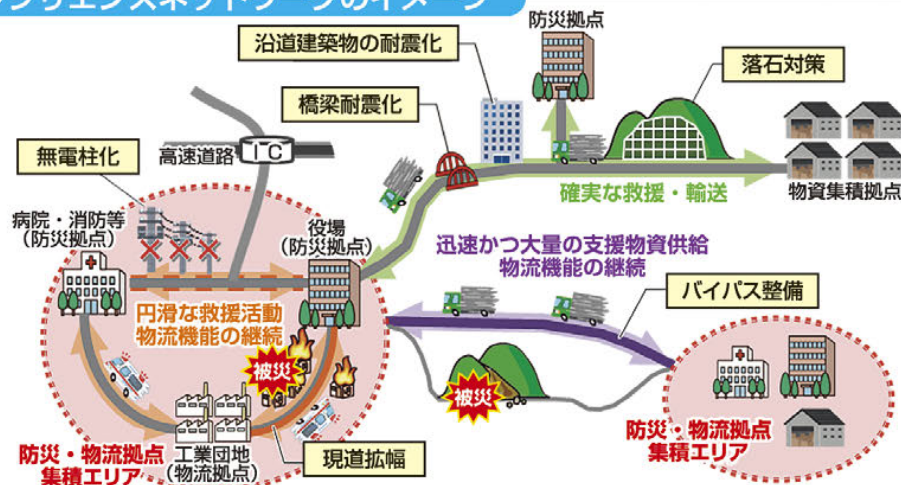
### ③ 県を超えた広域的な連携を強化する強靱な道路ネットワークの構築

県内外の防災・物流拠点を結ぶ緊急輸送道路の寸断に直結する落石及び落橋等のリスクを軽減することで強靱な広域道路ネットワークを構築します。

### ④ 道の駅における防災拠点機能の強化

大規模災害時の避難住民の受け入れや被災地支援の前線基地としての防災機能に加え、広域的な復旧・復興活動の拠点としての機能を備えた「防災道の駅」の設置に向け、国、県、市町村の連携により、ハード・ソフトが一体となった防災機能の強化を促進します。

## ■ レジリエンスネットワークのイメージ



### 【災害時にも機能する強靱な道路ネットワークに必要な機能】

- ◆道路閉塞が生じにくく早期に啓開できる幅員の確保（幅員12m以上）
- ◆寸断要因の排除（落石・土砂崩落、落橋、電柱倒壊）
- ◆多重化されたネットワークの構築

### 【凡例】

- ↔ 防災・物流拠点集積エリアを結ぶ道路ネットワーク
- ↔ 防災・物流拠点集積エリア内の主要拠点を結ぶ道路ネットワーク
- ↔ 県を越えた広域的な連携を強化する道路ネットワーク